

令和6年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	表彰規則 摘 要	氏名・団体名	住 所	功 績 等
1	3-1	おない せつこ 小内 世津子	大字 下時枝	自身の認知症介護者としての経験を活かして、教育機関や介護施設等で講演を行うほか、認知症サポーター養成講座の講師として、認知症の正しい知識の普及啓発に積極的に取り組んでいる。 また、毎月実施している認知症介護者のつどいでは、世話人として介護者や本人が孤独にならないようきめ細かいサポートを行うことで活動を支えてきた。 氏の長年にわたる活動は、認知症への理解を深め、本市の福祉の増進に大きく貢献している。
2	3-1	すえむね みつはる 末宗 光晴	大字 江須賀	平成30年4月から3期6年間にわたり大分県建設業協会宇佐支部長として、生産性の向上や経営改善に取り組むとともに、雇用改善対策や労働災害防止対策に尽力した。 また、激甚化する災害に備え、市や土地改良区と協定を締結、災害発生時には迅速に応急対応を指示しライフラインの確保に努めるなど、地域の安全・安心を守る活動を率先して行ってきた。 氏の社会的責任を追求する姿勢は、人手不足が叫ばれる業界のイメージアップと地域経済の発展に貢献するものである。
3	3-1	うぶぎの ^{かい} 会 (会長 今戸 ^{いまだ} 節子 ^{せつこ})	大字 下矢部	平成25年9月に会を設立。市内で生まれた新生児のために産着を縫い、市を通じて保護者に贈る活動を行っている。贈られた産着は4,000枚を超え、多くの感謝の声が寄せられている。 また、新型コロナウイルス感染症拡大でマスクが不足した時期には、妊婦や保育園児に手作りのマスクを配布した。 同会の長年にわたる子育て世帯を応援する活動は、本市の福祉の増進に大きく貢献している。
4	3-1	あそうちいき 麻生地域づくり 協議会 ^{きょうぎかい} (会長 床並 ^{とこなみ} 和男 ^{かずお})	大字麻生	一つの集落では解決することが困難な課題に対して、小学校区単位で取り組む地域コミュニティ組織を平成25年12月に設立。 これまで、高齢者支援・健康増進・環境整備などの活動を継続して行い、市内周辺部における先駆的な役割を果たしてきた。 また、「ふれあい ささえあう 麻生の郷」をスローガンに新たな10年間のまちづくり計画を昨年度に策定し、会員の自主性に主眼を置いて活動している。 同会の姿勢は他の模範となるものであり、住民自治の推進に大きく貢献している。

令和 6 年度 宇佐市功労者表彰

【一般表彰】

(敬称略)

No.	表彰規則 摘 要	氏名・団体名	住 所	功 績 等
5	3-2	わたなべ え み 渡邊 技美	大字 四日市	茶道裏千家の教授活動を43年間行い、茶道の探求と普及に努めている。平成2年からは、大分県立宇佐高等学校茶道部の指導者として34年間後進の育成にあたっている。 また、平成23年から4年間は宇佐市文化協会副会長として協会の運営に参画し、現在は理事として協会の発展に尽力している。 氏の日本の伝統文化を継承・普及する活動は、本市の文化振興に大きく貢献している。
6	3-2	わたなべ たかひろ 渡邊 崇博	大字 四日市	平成21年に日本美術院の展覧会において初入選して以降、現在まで入選回数は10回を超える。 また、戦後途絶えていた「四日市人形」の復興においては、平成22年の四日市伝統技能伝承クラブ設立時より人形部会の部長として中心的役割を果たし、令和5年からは同クラブの会長を務めている。新しい人形の創造にも取り組み、絵付け体験教室を行うなど、四日市人形の普及に尽力している。 さらに平成25年から6年間宇佐市文化協会副会長を、同年から現在まで宇佐市美術協会会長を務めており、氏の活動は本市の芸術文化の向上と伝統技能の継承に大きく貢献している。